

令和6年度

試験名:推薦入学試験

【 理工学群 社会工学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
設問1	<p>増減数が2011年から継続的にマイナスである。このため、総人口は単調に減少していることがわかる。死亡数は増加傾向にあるが、65歳以上人口は単調に増加しているため、総人口に対する65歳以上人口の割合は増加している。</p>
設問2	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>掲載省略</p> </div>
設問3	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>掲載省略</p> </div>
設問4	<p>変化率：</p> <p>結腸：$2.66\% \quad ((36356-35414)/35414) \times 100 \approx 2.659 \approx 2.66$</p> <p>喉頭：$2.62\% \quad ((863-841)/841) \times 100 \approx 2.615 \approx 2.62$</p> <p>寄与度：</p> <p>結腸：$0.25\% \quad ((36356-35414)/373584) \times 100 \approx 0.252 \approx 0.25$</p> <p>喉頭：$0.01\% \quad ((863-841)/373584) \times 100 \approx 0.005 \approx 0.01$</p>
設問5	<p>特定の年におけるある部位の寄与度は、同年同部位の対前年変化率と同部位の前年構成比の積という関係がある。設問4の結果では、結腸と喉頭の2019年の対前年変化率はほぼ同じであるが、寄与度は大きく異なっている。これは、結腸と喉頭の2018年の構成比が大きく異なるためである。</p>
設問6	<p>$(385787 - 381505) / 381505$</p>
設問7	<p>国内総生産、エネルギー価格、家計年間支出入、入試得点の年変化等の経時的データ等において、変化率は、ある基準時点と比較時点の増減に関する変動を示し、寄与度は、全体の変化率に対して、各内訳の変化がどの程度影響を与えるかを示すということが、適切な例を用いて論述されていること。</p>
設問8	<p>(ア) 1 (イ) 181</p>
設問9	<p>(ウ) 0.5 (エ) 1</p>
	<p>論述の問題に関しては、上記の解答でなくても、論理的に正しければ正解とする。</p>